

### 第4回 伊丹市学校給食 献立コンクールを実施

市教育委員会は昨年度に引き続き、子どもの学校給食に対する意識を高める取組として、市内小・中学校を対象に「学校給食献立コンクール」を実施しました。

栄養バランスを考え、地元産食材を盛り込むなど、創意工夫した給食献立が多数応募されました。

応募総数は前年度より増加し、小学校の部15作品、中学校の部15作品の計30作品が入賞作品に選ばれました。



伊丹市立伊丹小学校3年生 神山 橙子さん



伊丹市立北中学校3年生 田中 里菜さん

**小学校**  
●白玉ボールの酒かすシチュー



**中学校**  
●酒粕チゲ鍋



小学校の部では伊丹小学校3年の神山橙子さん、中学校の部では北中学校3年の田中里菜さんの献立が最優秀作品に選ばれ、令和3年2月の学校給食でそれぞれ実際に提供されました。

子どもたちは、最優秀作品の献立を、一口口味わって食べていました。今後も学校給食を活用し、食育の充実を図ってまいります。

### はぐくみ

伊丹市教育委員 太田 洋子

### 「コロナ禍で変わりゆくもの」と「変わらないもの」



昨年の3月、新型コロナウイルス対策として二斉休校が要請されました。学校再開後も修学旅行等の行事が全て中止となり、授業においても様々な制限が課せられました。しかし、困難に遭遇した時は「アイデアは生まれるものです。学校に関わる全ての人が力を合わせ、激動の1年が終わろうとしています。」

さて、新型コロナウイルスの影響で私たちの生活は一変しました。その大きな流れの一つが社会デジタル化です。テレワークが進むとともに、国の行政機関に「デジタル庁」が設置される等デジタル人材の育成が急務となっています。学校においても、児童生徒一人一台の端末を整備する「GIGAスクール構想」が当初は令和5年度までの整備となっていました。オンライン学習等の必要性から今年3月末までに前倒しとなりまして、本市においても市内のすべて

の小学校に児童生徒の数の多い教室にタブレット端末が導入され、各教室で新しい学びのスタイルが展開されるために、教員研修の実施や活用事例の共有等に力を尽くしたいと思っています。

一方、コロナ禍の中でも変わらないものもありました。それは「地域や保護者の皆さんの子どもたちの思い」です。本市ではすべての小・中・特別支援学校を市立高等学校に一元化して市立高等学校に「学校運営協議会」が設置され、コミュニティ・スクールとして運営されています。直接子どもたちと関わることには難しいけれども、何か自分たちができることはありませんか？

と、いつも思いながら、どの学校でも熱意が行われていて、その中から「校門での検温、環境整備や消毒等の学校支援」「スポーツ交流会の開催」「様々な職業の方を学校に招き体験学習やミニトライヤ」等のアイデアが実現しました。これからの未来を思い、「この密」は変えず、新しい時代に対応した教育の推進に力を尽くしていきたいと思っています。

### 伊丹市教育委員会 ふれあい教育賞

教育・文化・スポーツの振興に功績のあった方々に贈られる伊丹市教育委員会賞「ふれあい教育賞」の受賞者決まりました。(順不同・敬称略)

教育委員会(団体)

▽伊丹マリンスクール(4年生の部)▽北摂カールズ有明レインズ▽伊丹チアリーディングクラブAPPLES▽Lakers▽市立伊丹高等学校(個人)

▽大谷桃子(天神小・バドミントン)▽立石ひなた(天神小・統計コンクール)▽堀古有香(天神小・バドミントン)▽立花舞乃(昆陽里小・テニス)▽組立さくら(鈴原小・バドミントン)▽中川隆博(狹野小・バドミントン)▽立花仁貴(狹野小・ボウリング)▽中村江里彩(東中・新体操)▽廣瀬田弥(西中・テニス)▽孫太一(天王寺川中・バドミントン)▽野田健太(笹原中・体操)▽竹内慶佑(笹原中・水泳)▽きたきた藤川未菜美(市立伊丹高)▽阿比留紗月(市立伊丹高)▽組なまな立阿比留紗月(市立伊丹高)▽馬場丞汰朗(市立伊丹高)▽レスリング)▽松島俊介(市立伊丹高)▽レスリング)▽荒井登里(飛込)▽森遙(レーサー)▽山内尾教子(トライアスロン)▽中西麻耶(陸上走)▽稲垣木峻(陸上)400mH)▽三宅奈緒香(陸上)60m)▽宮田夏実(フットサル)▽北岡優衣(車いすバスケットボール)

ふれあい教育賞(個人)

▽平岡秀実(平成26年から毎日欠かさず学校周辺の落ち葉清掃や、時には伸びすぎた枝の剪定まで行うなど、学校の環境美化に大きく貢献)

### 伊丹市優秀教職員表彰

学校教育活動において教職員の模範となる取組を行い、優れた成果をあげた教職員を対象に表彰しました。(順不同・敬称略)

▽藤崎葉子(瑞穂小・3学校保健・学校給食指導)

▽鎌谷真樹(池尻小・6防災教育)▽三木陽一(荒牧中・2生徒指導・進路指導)▽古谷俊樹(笹原中・1学習指導・9研修・研究活動)

※推薦分野

1 学習指導 2 生徒指導・進路指導 3 学校保健 4 特別支援教育 5 人権教育 6 防災教育 7 へき地教育 8 その他課題教育(4~7以外)の課題を有する教育 9 研修・研究活動 10 PTA や地域との連携 11 職務の工夫 12 その他各種学校教育活動

### 伊丹市優良児童・生徒顕彰

各種検定・技能資格等の取得において他の模範となる優れた成果を挙げた市立学校に在籍する児童・生徒を対象に顕彰しました。

英語検定…2級5名、準2級51名、3級25名  
漢字検定…2級14名、準2級24名、3級17名  
数学検定…準2級1名、4級1名、5級12名  
珠算・暗算検定…有段者2名、1級13名  
ビジネス文書実務検定…1級14名

情報処理検定…1級2名  
簿記実務検定…1級13名  
珠算・電卓実務検定…1級1名  
全商英語検定…1級1名  
商業経済検定…1級2名  
(令和3年2月25日現在 延べ188人)



**ことば蔵**  
伊丹市立図書館  
☎072-783-2775

### 第3回

### 伊丹でみつける・さぐる・かんがえる 図書館を使った調べる学習コンクール開催!

知りたい事や解決したい事を、図書館などで調べた作品を募集するコンクールを開催しました。



優秀賞・特別賞の作品は市内の図書館で展示

夏休みには、小学生を対象として図書館での調べ方やまとめ方を学ぶ講座や、実験と図書館を使った調べる学習を組み合わせ「エジソンこうざ」「ガリレオこうざ」などを市内の企業や施設と連携して開催し、多くの方に調べる楽しさを体験してもらいました。

楽しみながら調べた事が伝わる力が集まり、11月にはことば蔵で表彰式を開催しました。「荒木村重」をテーマとした作品など、全国コンクールへ推薦した2作品は佳作となりました。地域への関心や主体的な学びを図書館を使って体験していただき、来年のコンクールへも是非ご参加ください。



表彰式の様子

### YAスタッフ募集中!

ことば蔵2階の「ヤングアダルトコーナー」の運営スタッフを募集します(市内在住・在学の高校生に限り)。毎月2回会議を行い、コーナーに置く本の選書や『YAタイムズ』の編集を行う活動などを行っています。図書館の運営に携わることができたり、他校の生徒と交流できたりと貴重な機会となりますので、ぜひお気軽にお問合せください。

### 「本の通帳」を配布しています



**本の通帳**  
「本の通帳」を作りました。伊丹市立図書館で借りて読んだ本の記録ができます。昨年度は、本館のみでの配布でしたが、今年度は分館・分室含め、全館に事業を拡大し、小学生に配布しました。通帳には本のタイトルや著者名だけでなく、ひとこと欄も設け、その本を読んで感じたことなども書き込めるようになっています。通帳1冊につき60冊まで記録でき、完読した子どもには図書館オリジナルの終了スタンプを押しています。スタンプを押してもらいに来館した子どもたちの顔は、どこか誇らしげで、たくさんのお本の出会いを楽しんでいました。

次年度は就学前の子どもにも対象を広げ、配布いたします。ぜひ、「おうち時間」の増えた今こそ、本とのひとときを過ごし、心に残る1冊と出会ってください。



伊丹市マスコット たみまる

### デジタル巡回 ラジオ体操

「人生100年時代といわれるようになり、健康の問題で日常生活が制限されるような生活できる期間、いわゆる「健康寿命」を延ばすことへの関心が高まっています。そのような中で、全国で様々な取組が行われていますが、中でも有効な手段として今「ラジオ体操」が注目されています。

毎年、(株)かん生生命主催で全国各自治体を巡回して開催される「巡回ラジオ体操・みんなの体操会」が、2006年度には伊丹市において伊丹マスコットセンターで行われる予定でしたが、残念ながら新型コロナウイルスの影響により中止になりました。

その代替策として「デジタル巡回ラジオ体操」と称した企画が立ち上がり、現在各自治体におけるラジオ体操動画が、YouTube上のかん生生命ラジオ体操チャンネルにて配信されています。

このたび伊丹市では、旧岡田家住宅・酒蔵をメインに撮影を行い、動画では、市長や教育長、スポーツ推進委員、また東京2020パラリンピック代表に内定しているパラ陸上女子走の幅跳び競技選手の中西麻耶さんが出演し、ラジオ体操を披露しています。昆池公園やスカイパーク、荒牧バラ公園など市内の名所も紹介しています。

市内外に向けた伊丹市のPRを含めた内容となっておりますので、ぜひご覧ください。

